

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2025-3004	利用形態	共同研究	利用する 試料・情報	対象: 女性全員 情報: 基本情報、調査票情報、がん罹患情報、異動情報	
主たる研究機関	国立がん研究センター			分担 研究機関	東北大学、愛知県がんセンター研究所	
研究題目	喫煙・受動喫煙の曝露時期と乳がん罹患リスクの関連分析			研究期間	2026年2月(承認後)～2029年 12月31日	
実施責任者	和田 恵子	所属	国立がん研究センターがん対策研究所 予防研究部		職位	室長
研究目的と意義	喫煙は肺がんをはじめとする多くのがんのリスク因子として確立されているが、乳がんとの関連については国際的に議論が続いている。特に乳腺が発達・分化する若年期から出産前における喫煙曝露や、家庭・職場における受動喫煙の影響は十分に解明されていない。本研究は、日本人女性における喫煙・受動喫煙と乳がん罹患リスクの関連を明らかにすることを目的とする。具体的には、喫煙開始時期と乳がん罹患の関係を検証し、家庭内や職場における受動喫煙曝露が乳がん罹患に及ぼす影響を評価する。					
研究計画概要	本研究では、JPHC、JPHC-NEXT、J-MICC研究、および、東北メディカル・メガバンク機構(ToMMo)、いわて東北メディカル・メガバンク機構(IMM)の5つのコホートからの約20万名を対象とする。喫煙および受動喫煙への曝露について、時期(喫煙開始年齢、初産年齢との関係、小児期および成人期の受動喫煙)や量(累積曝露期間、喫煙本数)を指標とし、乳がん罹患に対するハザード比と95%信頼区間を推定する。解析にはコックス比例ハザードモデルを用い、年齢、Body Mass Index、飲酒、生殖要因などの交絡因子を調整する。					
期待される成果	女性を対象とした喫煙と乳がん罹患の解析は国内の単独コホートでは曝露およびイベント数が十分になく難しいため、バイオバンクとして解析結果を提供し、各コホートから得られた結果をメタ解析することで日本人における喫煙および受動喫煙と乳がん罹患リスクの関連を包括的に評価したロバストなエビデンスを確立する。					
これまでの倫理 審査等の経過	本研究は東北メディカル・メガバンク計画(課題名:いわて東北メディカル・メガバンク地域住民コホート研究、承認番号:HG H25-2、承認日:令和7年6月11日)の一部として集計データを利用して実施するため、倫理申請は行わない。					
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	「ヒトを対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいた管理を実施します。 東北メディカル・メガバンク事業の資料・分譲審査委員会の定めるセキュリティーポリシーを遵守します。					
その他特記事項	なし。					
*公開日:2026年3月9日						